

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あしたばデイヒルズ				公表日	2025年2月14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		大きい児童の利用が多い日や、その日の子供の状態によって狭く感じる時もある。	外遊びを取り入れたり、宿題と運動のスペースを分けて活動している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		10人を超える日は職員数を増やしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		子供に分かりやすく出し入れしやすい様に整理整頓を心がけている。	バリアフリー化にはなっていないが、スロープを利用してバリアフリー化は可能。必要な児童が居れば検討する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日清掃している。汚物などあれば適切に片付け消毒して清潔を保っている。	ヒヤリハット等活用し危険が予測される物は置かない様にしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		<input type="radio"/>	パーティションを用いて児童が立ち入れないスペースを確保している。	個室が無いので居場所を離したり、外遊びに出かけたりして対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画書作成時、職員全員で参画している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価表を確認し、課題点を職員全員で共有し、改善に務めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎日の日誌等をもとに話し合っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		必要があれば外部の方に意見を伺い、改善することを検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		月1回、全事業所合同ミーティングを行い、研修をしている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		今回からHPで公表する様準備を進めている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		日々の振り返りをもとに情報収集し、保護者のニーズや課題を取り入れて計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		計画書作成は職員全員で行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		スタッフ全員が共有し、計画に沿って支援を行うよう務めている。	常に計画内容を共有しあうようにする。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		日々の行動観察を記録し保護者から提供していただいた発達検査結果等も参考にしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		保護者、教員から家庭や学校での様子を伺いモニタリングし、その上で具体的な内容を話し合っ、必要な支援を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		チームで相談して行っている。	非常勤職員の意見も参考にし立案する。	

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		運動、創作、ゲーム等の内容を固定化しないように工夫している。	期間設定も児童の様子を見ながらその都度行っていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		マンツーマントレーニングと集団活動を組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		ホワイトボード等を用いて見えるかを図り、連携して支援を行うよう務めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		日誌やヒヤリハット等を用いて振り返りを行い、情報を共有している。	その日休みだったスタッフには次の出勤時に情報を共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日誌として個別に記録し、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		6か月に1度のモニタリングを行い見直しを行っている。	児童の状態により必要に応じて見直しを行う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		自立支援、創作活動、発表会、ゲーム遊び等組み合わせ、個々に必要な支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		その日の児童の状態を確認し、選択できない日は二択にする等の工夫をしている。	ヒントを出したりして自分で選択できるようサポートする。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		開催された時は参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		現在医療機関との連携が必要な児童は居ない。学校、相談支援事業所、他のデイとは連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		学校に年間計画や行事予定表をもらっている。	下校時間が変更された時に連絡がもらえない時があるので、その都度情報共有をお願いしていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		相談支援事業所を通して情報をいただいている。	必要に応じて各所に情報共有をお願いする。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		依頼があれば保護者の同意を得て、提供する。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		グロウスの会に参加して助言を受けたり、研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		地域の他のこどもと計画的に活動する機会はないが、外遊びの時に地域の公園等に行き交流している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		松阪市児童通所系サービス連絡協議会（グロウスの会）に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		毎日の送迎時に様子を伝えあい、共有している。	悩み等相談しやすい環境をつくる。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		研修の機会や情報がある時は提供している。個別に保護者の相談に応じている。	悩み等相談しやすい環境をつくる。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約時に説明を行っている。	変更があった場合はその都度説明していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		モニタリングを行い、こどもや保護者の意思を盛り込んだ計画書を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		説明して同意を得ている。	書面で示し、口頭でも説明し理解を得るようにする。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		悩みや相談に適切に応じる様心がけている。一旦持ち帰り、スタッフで共有して必要な助言等を行う様にしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会や作品展、音楽発表会、スポーツフェスティバル等で交流の機会を設けている。	行事に兄弟も参加してもらい、交流する機会をつくる。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		小さな苦情等にも迅速かつ適切に対応するよう務めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		通信を発行している。行事予定はその都度便りを出している。	通信の発行回数を増やす事を検討している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々に対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		利用者の個人情報の取り扱いが難しく、招待はしていない。自治会には加入している。	個人情報の取り扱いが課題である。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し訓練している。	訓練の仕方を模索している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し訓練をしている。	訓練の仕方を模索している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬やアレルギー、発作等の確認をその都度保護者に行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		今のところ医師の指示書のある利用者がいない。	保護者からの情報で対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成している。安全管理が十分されるように務めている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		災害時のマニュアルを契約時にお渡しして説明している。	訓練実施後等、その都度保護者へ周知していく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを共有し方策について話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束等適正化研修を行っている。今のところ拘束を必要とする児童はいない。		